

# 浪江町上下水道の運営をサポート

## 横浜ウォーター 鈴木慎哉社長の話



頂き、当社との協議が始まりました。同年10月に水道事業アドバイザー業務委託の契約締結に至り、アドバイザー業務がスタートしました。

水道は平成29年、下水道は令和元年から活動

当社が浪江町での取り組みを開始したのは平成29年です。大和田係長が短期間で復旧・復興を遂げた宮城県山元町を訪問した際に、横浜市と当社が上下水道事業の復旧・復興、そして事業運営にかかるとして総合的な支援を行っていることを知って

り業務も委託し、現状分析や汚水需要予測などを進め、公共下水道計画の見直しや公営企業会計の導入検討、処理場設備の更新や維持管理などの実務に関するアドバイスを実施しています。

より効率的な事業運営の実現に向けた基準作りについても支援しています。それと並行して、平成30年には水道施設再構築計画検討業務委託の契約

これからも様々な支援と工夫が不可欠  
震災前、水道では施設

ますので、今後とも様々な支援と工夫が不可欠ではないでしょうか。当社として出来る最大限のお手伝いを続けていきたいと思っています。

必要があると思います。今後、課題解決に向けて引き続き調査や対策が必要であることを発信・共有し、原発被災地の現実を再認識のうえ、で未来に向けて取り組む

## 各分野の専門家がアドバイス マンパワーとノウハウを総合的に補完

約を締結し、現実的な需要予測を検討したうえで、できるだけ無駄のない施設再構築計画の策定をサポートしました。

維持管理業務や料金徴収業務を委託していましたが、現在に限られた執行体制のなか、すべて直営で実施されています。

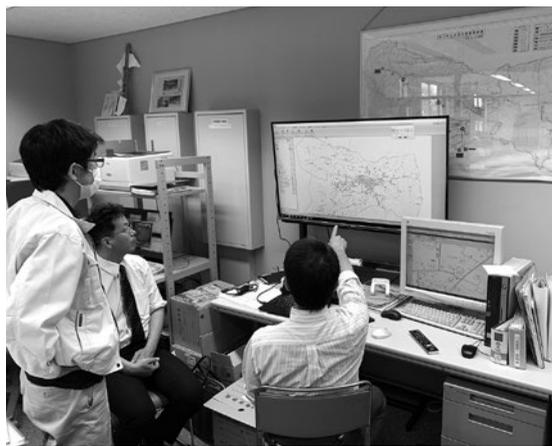
縮減は喫緊の命題となっています。原発被災地における震災の爪痕は未だ

は、水道は4年目、下水道は2年目を迎えています。道は、良好な関係を構築させて頂いており、些細なことで気軽に相談したいと思っています。

をもつて取り組み、意見を言い合える関係を継続できるように取り組んでいきたいと思っています。

決に少しでも貢献できればと考えています。

また、当社の活動を通じて、浪江町と山元町で意見交換する場を設けるなど、公の連携の輪が広がっています。これからは浪江町の周辺地域にも着目し、広域的な支援や連携のお手伝いができればと考えています。



課題の解決に向けて短期的視点と中長期的視点を持って総合的なアドバイス